

特集1

まちを守る 消防団



地域に根付き、まちの安心・安全のために活動を行う「消防団」
もしもの時に生命と財産を守る消防団の活動とは



地域防災の要^{かなめ}消防団

消

防団は地域における消防防
災のリーダー。平常時・非
常時を問わず地域に密着し、住民
の安心と安全を守るという重要な
役割を担っています。平常時は訓
練・防災広報・住宅防火訪問・消
防操法大会など防災のための活動
を行っています。災害時は消火活
動・救助活動など地域を熟知する
消防団員が消防隊員と協力して活
動を行います。近年は女性消防隊
の活動も充実してきており、特
に一人暮らし高齢者宅への防火訪
問、応急手当の普及指導などに
いて活躍しています。

消防署では消防吏員・消防官が
常に消防業務に専念しているのに
対し、消防団員は自分の仕事を持
ちながら、災害などの発生時は消
防団員としてその対応に当たりま
す。仕事をしながら・家庭を持ち
ながら、消防団は自分のまちを守
り続けます。



曾於市消防団組織

本部 9名

- 末吉方面隊 12分団 定員 217名
- 大隅方面隊 9分団 定員 230名
- 財部方面隊 6分団 定員 152名
- 女性消防隊 定員 12名



曾於市消防団は10代から60代の団員が活躍していますが団員数は減少傾向にあり団員の確保が課題となっています。消防団活動を維持し、地域を守るために一緒に活動しませんか。
火災は日頃の注意で防ぐことができます。一人ひとりが注意して火災を起こさないようにしましょう。

曾 於市消防団は本部・女性消防団に加え各地域に27分団が組織されており総勢576名の団員が市民の生命・財産を守るために予防消防に努めています。消防団本部は災害が発生した際にいち早く対策本部を設置し災害を見極め、団員の安全を守りつつ被害を最小限になるように指揮を取ります。



曾於市消防団本部
団長 吉岡 浩人さん

消防団員インタビュー



女性消防隊
隊長
上集 幸子 さん

曾於市女性消防隊は平成 26 年に発足しました。消火活動は行いませんが住民への防火・防災指導や啓発活動を行っています。現在 8 名の隊員のうち 5 名が「応急手当普及員」の資格を取得し救命講習を行うことも。その他に身近な救急の場면을寸劇を用いて啓発するなど活躍の場面は多いです。20 代から 60 代の幅広い世代の隊員が活躍しているので皆さんも女性消防隊で地域に貢献してみませんか。



大隅方面隊
大隅北分団 分団長
桑原 法治 さん

私は分団長として団員が安心・安全に活動できることを第一に考えています。私の兄も消防団員だったのですが、活動中に亡くなりました。この経験から団員には十分に目を配り、声掛けを行うなど安全に活動することを心がけています。また日々の活動には周囲のサポートに助けられています。火災が発生するとすぐに出動させてくれる職場や休日の活動に理解してくれている家族に感謝しています。



末吉方面隊
光神分団 団員
岩松 翔馬 さん

私は昨年 4 月に入団しました。父も現役の消防団員で小さい頃から父の姿を見てきたので以前から入団したいと考えていました。今まで 2 度火災現場に出動しましたが、迅速に消火活動を行う先輩団員を見て、自分も早く消火活動に貢献できるようになりたいと思いました。これからの訓練を通して経験を積み、地域に貢献できる消防団員になりたいと思います。



財部方面隊
宇都分団 部長
永吉 裕一 さん

消防団に入団して 15 年。そのうち 14 年間ラッパ隊に所属しています。ラッパ隊は操法大会などの式典の際に演奏を行います。楽器の経験はありませんでしたが、今では趣味としても演奏を楽しんでいます。週に一度、各分団からラッパ隊員が集まり練習をしているので隊員同士の交流にもつながっています。ラッパの存在や仲間の繋がりが楽しく活動に取り組んでいます。

特集 まちを守る消防団

第20回全国中学生
「防火防災に関する」
作文コンクール出品作品

「命を背負って」

財部中学校2年 西丸 和坐なごせ

私達の地域の防災ラジオの電気がつき緊急の放送があると我が家はテレビなどの音をけしてラジオを聞く。そして父が消防団の服をまとい現場へと急ぐ。そう、私の父は仕事をしながら消防団に入っている。高校を卒業したときからはいつており約二十二年目だ。

火災の時だけではなく、台風や地震などの災害時や地域の見回りなどがある。そんな父がほこらしい半面、大変な時にいない心細さもある。それでも、やっぱりそんな父がほこらしいのだ。いつもは、ビールを飲む父だが大雨が降りそうな時は飲まないことなどがある。私や妹二人が寝ている真夜中にあってもいそいで準備して現場へ車を急がせる。りゆうのような炎をあげる火に向かっている父や周りの人の姿はとてもカッコイイ。消火が終わった後も見回りをしている父も含め他の人も、自分の仕

事もありながら消防団の仕事をまっとうしているのがとてもすごいことだと私は思う。そんな、消防団はとても地域の人々から大切にされている。日常生活以外でも年に一回あるいろいろな色がついている水をほうすいする出初式などもある。他にも、梅雨の時には多く出動する。出動するだけではなく、泊まることもある。

そんな、自分の命が危険な状態でも消防団としてのほこりをもっている、団員の人々がすごいと思う。そして、団員だけではなく私達のような周りの家族にも、ほめてくれる地域の人がある。

「いつも、お父さん仕事もして消防団もしてすごいね。」

恥ずかしいような気持ちになる。いつもは、ずっととふざけている父も防災ラジオがつくと顔が変わったようにラジオを聞き、玄関から消防の服を着ていなくなる。そんな姿をいつまでも見守るといふのはおかしいけど、いつまでも見ていたいと思う。

消防団：それは、地域によりその地域の人々の命を自分の命を、ぎせいにしても守る地域のスーパーヒーローだ。

消 防 団 員 大 募 集 !!

消防団活動を維持・継続していくために新入団員を募集しています。あなたのチカラを地域のために!!

対象者 次の条件を満たす方

- ◎市内に住んでいるか通勤している人
- ◎18歳以上の人
- ◎心身ともに健康な人
- ◎女性消防隊も募集しています

福利厚生

- ◎出動手当・年報酬・退職金などが支給されます
- ◎公務災害共済・福祉共済・火災共済・消防個人年金に加入できます。

※詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ 総務課 ☎ 0986-76-8801



消防団に関する詳しい情報はWEBで <https://www.fire-japan.com/kyokai/> @FDMA_JAPAN 総務省消防庁 Fire and Disaster Management Agency